



JASDAQ

平成 23 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 執行役員総務人事部長 秋山 仁志
電 話 04-7137-3111

平成 23 年東北地方太平洋沖地震の影響について(第 2 報)

平成 23 年 3 月 11 日に発生いたしました三陸沖を震源とする「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」の当社への影響につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1 生産設備の稼働状況と見通し

第 1 報でもお知らせいたしました、ガラス電気溶融炉(連続式)1 基に、一部ガラス生地漏れが生じたため、稼働を停止いたしました。

この対応策として現在まで稼働を停止しておりました単独炉(バッチ式)を全て再稼働するため準備をしており、3 月 22 日に 1 基目が稼働を開始し、今後合計 6 基を順次稼働してまいります。

一方、稼働を停止いたしましたガラス電気溶融炉は 2012 年中の定期補修を計画しておりましたが、前倒しで品質向上をも盛り込んだ新規築炉の準備に入っております。

2 計画停電への対応

本社ガラス事業所につきましては、2,000KW の自家発電装置の稼働で対応しております。また、成膜をしております高田事業所につきましては、製品の一部を新潟岡本硝子株式会社へ生産移管しております。新潟岡本硝子株式会社におきましては、既に、ガラス生地から蒸着まで一貫生産しておりますので、生産の移管に伴って困難な状況に陥ることはありませんが、念の為、本社より薄膜技術者 3 名を派遣済みであります。

3 平成 23 年 3 月期の業績見通し

今回の被害及び計画停電による当社グループの今期業績等への影響につきましては、大きな影響はありませんが、重要な変化が見込まれると判断された場合には速やかにお知らせいたします。また、平成 24 年 3 月期への影響につきましては、新規築炉の関わる費用も含め、来年度の計画を見直しており、詳細が確定次第、お知らせいたします。

以上